



1 関心高まる情テク大学校!



オープンキャンパスの全体会の様子

8月23日(土)に第3回のオープンキャンパスが開催されました。来春開校の県立情報テクノロジー大学校への関心が高く、150人を超える来校者がありました。

全体会では、県が目指す「質と量の両面でのデジタル人材育成強化」と、情報テクノロジー大学校の概要が説明されました。その後、体験授業や校内見学が実施されました。

他県の来校者は「情報に特化した大学校は珍しい」と話していました。

個別相談会では「昼食は学生食堂などがあるのか」「どのような部活動があるのか」などの質問がありました。関心の高さを実感した、夏の3回のオープンキャンパスでした。



校内見学の様子



個別相談会の様子

2 校長会で大学校化PR!



校長会の様子

県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校長会が、8月27日(水)にホテルレイクビュー水戸で開催され、榮智徳教務課長が、本校の大学校化の説明を行いました。

経済産業省は2030年までにIT技術者が79万人不足すると試算しており、次代を担う人材育成のために来年度開校する「情報テクノロジー大学校」に高い関心を持って頂きました。

3 残暑に負けず猛勉強

8月6日(水)~29日(金)までのうち10日間、「C言語とJava言語の入門」講座が開催されました。講座には二年生14人が参加し、暑さに負けず猛勉強していました。

担当の光石則幸専任講師は「これからの進学や就職に向け、参加者のレベルアップを図りたい」と意欲的に話していました。



授業風景

受講した永井海羽さん(日立商高卒)は「夏休み期間を通して、基礎から復習できました。自分の苦手な分野をじっくり見つめなおすことが出来ました。この講座に参加する前より、出来るようになったと思うので勉強になりました。感謝」と笑顔で話していました。

杉本翔太郎さん(多賀高卒)は「この講座を通して、プログラミングの基礎の部分を変えて学び、良い復習になりました。また、光石先生のお陰で少しずつプログラミングが上達したと思います」と振り返っていました。



学びに集中する学生たち

野村末結さん(水戸二高卒)は「就職でC言語が必要なのでしっかり復習できました。苦手克服とはいかないまでも勉強になりました」と笑顔で話していました。



光石専任講師からアドバースを受ける学生